



Black Achievers に参加する若者たち

World YMCA NEWS

2018
12

アメリカBlack Achieversによる 若者の支援（30周年）

ーウォルナットストリートYMCA
（米国・デラウェア州）

次のアジア・太平洋YMCA大会は 日本で行われます

ー日本YMCA同盟

10月12日にウォルナットストリートYMCAで、第30回 Black Achieversの表彰セレモニーが行われました。

ビジネスや産業分野で活躍したアフリカ系米国人（Black Achiever）の表彰制度は1971年にニューヨークマンハッタンにあるハーレムのYMCAで始まりました。このプログラムでは、アフリカ系米国人の若者の生活スキルの向上や、彼らが教育を受けることで自ら意欲的に勉強するようになることを目的として、さまざまな分野で活躍しているメンターが若者をサポートしています。

表彰セレモニーでは、作家であり企業家のHarvey Williamsさんが基調講演を務めました。彼女はウォルナットストリートYMCAの子どもたちに向けて「重要なのはどう始めるかではなく、どう終わるかです。」と自身の経験を語りました。

Black AchieversプログラムディレクターAnesha Truesdaleさんは、Harvey Williamsさんについて「彼女のストーリーはたくさんの学生と似ています。私たちは生活の中でさまざまな壁にぶつかりますが、それによってあきらめる必要はないのです。」と話しました。

また、「子どもたちから『私はあの建物で働く人を知っている』、『ここで働いているエンジニアに会ったことがある』と声があがることはさまざまなキャリアへの道があると知ってもらえているということで、とても嬉しいです」と語り、Black Achieversプログラムの30周年の成果を祝いました。

Black Achievers Facebookページ

<https://www.facebook.com/YMCABlackAchieversDE/>



4年ごとに開催されるアジア・太平洋YMCA大会。その20回目の大会は来年9月2日(月)～6日(金)にYMCA東山荘（静岡県・御殿場市）で行われます。大会に先立ってユース・アッセンブリーが来年の8月31日(土)～9月2日(月)に東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されます。

大会のテーマは「Living Together Within Nature on a Path to Peaceー自然の恵みに抱かれ、平和に向かって共に生きる」です。

私たちの生活の持続性において、私たちが自然の一部として暮らしを営み、人類を平和と調和のとれた社会へと導くために何ができるかを考えます。

日本からはユース・アッセンブリーに50人、アジア・太平洋YMCA大会には150人の参加を目標としています。

大会参加のための情報は、各加盟YMCAを通してお知らせいたします。

世界メンタルヘルスデイ

ーベンディゴYMCA(オーストラリア)



10月10日は「世界メンタルヘルスデイ」です。イングランド及びウェールズのYMCAから始まった“I am Whole”キャンペーンは「私は自分らしくいて良い」というメッセージとともにメンタルヘルスの課題に取り組んでいます。

オーストラリア・ビクトリアにあるベンディゴYMCAとベンディゴコミュニティヘルスセンターは世界メンタルヘルスデイに向けてI am Wholeキャンペーンに参加しました。キャンペーンでは、個々に自分の心の状態を見つめる時間を1時間ほど過ごし、どのような気持ちの変化があったのかを、手のひらに書いた丸いシンボルマークと一緒にシェアしてもらいました。

ベンディゴYMCAのユース・エンパワーメントコーディネーターJamie Robertsさんは「身体的な健康が推奨されることと同じように、精神的な健康についても気を配る必要があります。身体的な健康のために、幼いころから野菜をたくさん食べたり、外で遊んだりしているという声を聞くことはありますが、メンタルヘルスのケアについては今まで話題にできてきませんでした。」と述べ、

「地域の中でメンタルヘルスへの関心を高めるためにさまざまな団体とコラボレーションしていきます」と話しました。

ベンディゴコミュニティヘルスセンターの健康促進担当のAnne-Marie Kellyさんは「メンタルヘルスと幸福についての調査により、メンタルヘルスが身体的な健康にも影響を与えていることがわかりました。」と述べ、若者と共にメンタルヘルスについて話し合うことの必要性を強調しました。

ベンディゴアドバタイザーホームページより
<https://www.bendigoadvertiser.com.au/story/5692220/iamwhole-for-world-mental-health-day/>

東ティモールYMCA活動報告

ーアジア・太平洋YMCA同盟



2018年9月10日～13日に一年に一度のPSG (Partner Support Group) 会議が東ティモールYMCAで開催されました。議題はこれまでの活動の振り返りと来年度計画の提案でした。

APAY(アジア・太平洋YMCA同盟)の総主事Nam Boo-Wonさんは「東ティモールYMCAが目的や対象を明確にして自分たちで活動を持続していくために、どのようなことができるかを探っていく必要があります。」と述べ、課題として、プログラムの充実、メンバーシップの開発、ガバナンス、土地の問題などが挙げられました。

東ティモールYMCAでは、今年の1月に90人の園児を迎えて幼稚園を開所しました。今後、園児を増やすためにカリキュラムを充実させること、アクティビティを増やすこと、設備の整備に引き続き取り組み、政府関係機関による認定のための必須条件を確保することが必要であると確認されました。

またリーダーの必要性についても話し合わせ、来年2月にAPAYによるトレーニングを実施することになりました。トレーニングには、YMCAミッションの理解や、YMCAのリーダーとしての役割や機能の理解、活動やその目的をより理解するための内容が盛り込まれます。

アジア・太平洋YMCA同盟ホームページより
http://www.asiapacificymca.org/joomla/index.php?option=com_acymailing&ctrl=archive&listid=1&Itemid=66&limitstart=80

World
YMCA
NEWS
2018.12

発行
2018年12月1日
日本YMCA同盟
03-5367-6640
info@ymcajapan.org